稲沢民報

NO.1330　2023年6月18日
発行：日本共産党稲沢市委員会
電話　21－5452
日本共産党稲沢市委員会の活動を紹介します。

くらしの相談は
曽我部博隆（0587）97－6105
服部としお090-8676-1927
URL:http://inazawa-jcp.jcpweb.net

6月議会一般質問（曽我部博隆市議）

①子育て支援の充実、②マイナ保険証、③核兵器禁止・平和を取り上げます

6月議会の一般質問で曽我部博隆市議は、①子育て支援の充実（異次元の少子化対策、保育士の充実）、②マイナ保険証の凍結を国に要求するべきではないか、③核兵器の禁止・非核平和都市をめざして　質問します。

子育て支援の充実の問題では、
①少子化（人口減少）の実態について、
②岸田政権の「こども未来戦略」の特徴・財源
③保育園での保育士配置基準の実態、見直しを国に要求するべきではないか

マイナ保険証の凍結を国に要求するべきではないか
①マイナンバーの普及状況
②マイナ保険証で問題は起こっていないか
③マイナ保険証・「資格確認書」で無保険者が続出するのではないか

核兵器禁止・非核平和都市をめざして
①G7広島サミットの評価
②非核平和都市の実現めざして
③自衛隊への名簿提出にあたり、除外申請を受け付けるべきではないか
について質問します。

6月議会の主な議案

○印鑑条例の一部改正
コンビニ等でマイナンバーカードの機能を搭載したスマートフォンで印鑑登録証明書の交付申請できるようにする。時期は未定。

○国保税条例の一部改正
後期高齢者支援金等分の課税限度額を2万円引き上げ、368世帯、650万円の負担増に。一方、5割・2割軽減の対象を拡大し、109世帯269万円が軽減される。

○学童の指導員資格の緩和
学童保育の指導員資格を研修終了者から研修終了予定者に緩和する。

○（仮称）井之口調理場新築工事の請負契約　31億90万円
井之口調理場の整備（2年間）は必要だが、整備後明治地区以外の自校調理場を廃止する予定。

○一般会計補正予算
市制65周年の一環としてJR稲沢駅自由通路にラッピング等を行う。
火災で高齢者が亡くなっているので、75歳以上の高齢世帯・65歳以上のひとり暮らしの方に火災報知器を無料で設置する（23、24年度の2年間を予定）。

市民の声（住みよい稲沢をめざすアンケート）

市長に届け懇談

そがべ博隆市議と党市委員会は6月5日、日本共産党として行っている「住みよい稲沢をめざすアンケート」の中間集約を行い、加藤錠司郎稲沢市長に申し入れを行いました（アンケートは5月末現在約300通返信（インターネットによる回答を含む））。

申し入れの主な内容は次の通りです。

一、小中学校の統廃合や図書館・体育館の廃止計画を撤回し、どんな地域でも安心して暮らせる市政にしていくこと。

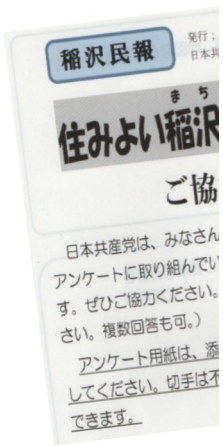
二、子育て・教育について、小中学校の給食の無償化、教育費の軽減、少人数学級の実現などをすすめること。保育については、保育料の無料化、給食費の無償化、学童保育の充実を求めます。

三、青年学生からの要望として、高校や大学などの学費軽減のため支援を行うこと。

四、国民健康保険・介護保険について、国保税の引き下げ、介護保険料の引き下げを行うこと。介護施設については、利用しやすい施設の増設と利用料の引き下げを行うよう稲沢市として可能な努力を行うこと。

五、コミュニティバスについて、①路線の拡大、②便数の拡充、③利用しやすい料金（100円）、④バス停の増設を行うこと。

六、補聴器購入への補助を拡充すること。

道路・側溝・公園などの地域の要望もびっしり寄せられています。これらについては後日調査を行い、別途申し入れることにしています。

加藤錠司郎市長（中央）に申し入れを行うそがべ博隆市議（右）と服部としお党市委員会副委員長